

令和3年  
伊豆市議会 12月定例会

一 般 質 問

令和3年12月

令和3年伊豆市議会12月定例会一般質問者と質問事項

**11月30日（火）午前9時30分～**

| 発言<br>順序 | 議席番号、氏名    | 質 問 事 項  | 答 弁 を<br>求 め る 者 | ページ |
|----------|------------|--|------------------|-----|
| 1        | 11. 波多野 靖明 | 1. ICTを活用した観光施設案内について                          | 市 長              | 1   |
|          |            | 2. 地元企業・事業者への支援について                            | 市 長              |     |
| 2        | 8. 星谷 和馬   | 1. 次年度事業の要望について                                | 市 長              | 2   |
| 3        | 14. 三田 忠男  | 1. 来年度予算編成にあたり、区長要望、議会提案<br>条例の政策・予算上の位置づけについて | 市 長              | 3   |
| 4        | 6. 下山 祥二   | 1. より良い教育環境整備と新中学校について                         | 市 長<br>教育長       | 4   |
| 5        | 4. 飯田 大    | 1. 共に支え合う地域福祉の推進について                           | 市 長              | 6   |

**12月1日（水）午前9時30分～**

| 発言<br>順序 | 議席番号、氏名    | 質 問 事 項   | 答 弁 を<br>求 め る 者 | ページ |
|----------|------------|---|------------------|-----|
| 6        | 10. 間野 みどり | 1. 故郷を愛し、安心して、将来、市民や子ども達<br>が暮らせていける町づくりのための人材育成の<br>施策について | 市 長<br>教育長       | 7   |
| 7        | 16. 杉山 誠   | 1. 下水道事業計画の見直しについて  | 市 長              | 10  |
|          |            | 2. 高齢者のゴミ出し支援   | 市 長              |     |
|          |            | 3. 人一倍繊細な特性を持つ子供HSC（ハイリー・<br>センシティブ・チャイルド）への対応について          | 教育長              | 11  |



# 発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年 11月 9日

伊豆市議会議長 様

議席番号 11番 議員名 波多野 靖明

No. 1

| 発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( ) |  |               |
|--|--|---------------|
| 発 言 の 要 旨                                      |  | 答 弁 を 求 め る 者 |
| 件 名  | 内 容  |               |
| 1. ICT を活用した観光施設案内について                         | <p>緊急事態宣言が解除され、秋の行楽シーズンに入り、伊豆市へ観光で訪れる方が増えております。とはいえ、未だコロナの脅威が残ることもあり、旅行の形態も、移動時に他人との接触が少ない自家用車が多く、ウィズコロナ、アフターコロナの時代の中でも「観光しやすい伊豆市」として、訪れる人に親切な観光案内が必要なのではないかと考えます。</p> <p>そこで、市内観光に訪れる方への施設の開設状況等を、スマホなどを使ったネット環境で確認できるシステムの導入はいかがお考えでしょうか。</p>  | 市長            |
| 2. 地元企業・事業者への支援について                            | <p>伊豆市では、人口減少対策として、移住定住促進のため、いろいろな支援策が講じられております。コロナの影響もあり、リモートワークの需要も高まり、首都圏へのアクセスも良い伊豆市は今後の流入人口を増やす絶好のチャンスであると考えます。その一方で、コロナ禍での緊急事態宣言等の協力金は、テレビ報道によって、宿泊業・飲食店への協力金を前面に打ち出していましたが、コロナによる業績の悪化は、それ以外の業種の方々にもふりかかっています。</p> <p>先日、私の所へ「ずっと地元で事業をしている、その他の企業や事業者に対しての支援が少ないのではないか」と声が届きました。今回、コロナ禍でクローズアップされた事で不満が募る方も多いのではないかと考えます。長年、地域で根ざし仕事をされている方々は、伊豆市を支えている方々です。今後、市内の企業・事業者の方々への支援策はお考えでしょうか。</p> | 市長            |



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年11月12日

伊豆市議会議長 様

議席番号 8 議員名 星谷和馬

No. 1

| 発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ( ) |   |               |
|---|---|---------------|
| 発 言 の 要 旨   |   | 答 弁 を 求 め る 者 |
| 件 名   | 内 容   |               |
| 次年度事業の要望<br>について                                      | <p>日本経済は、コロナ禍の落ち込みから、指数を見ると順調に回復していますが、伊豆市の主要産業である観光業はまだ途上中であり、更なる支援を要します。</p> <p>GOTO キャンペーンの再開、ワクチン接種の進展にもよるが、外国人観光客の入国制限の緩和等が考えられます。また人口問題に関しては、2020年度出生数84万人、出生率1.34と共に前年を割り、低い状態が続いております。これでは国力の低下を招き、そして国際競争力の順位も下がっております。</p> <p>このような環境下ですが、伊豆市の大型事業は順調に進んでおります。そしてコロナ禍で疲弊した企業、商店等には倒産防止、雇用を守る為、国、県と協力してさまざま支援をしてきました。これからも出来る限り支援してまいります。</p> <p>伊豆市の課題は人口減少、地場産業の強化、そして企業誘致等です。伊豆クラブは次年度予算に対して、提案、要望書を提出しました。その中からいくつか質問致します。</p> <p>(1) 奨学金制度の充実<br/>(2) 婚活活動の実施と充実<br/>(3) 小規模宅地の造成<br/>(4) 積極的な企業誘致<br/>(5) 山林の保護と伐採</p> | 市長            |



# 発 言 通 告 書

下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年11月12日

伊豆市議会議長 様

議席番号 14 議員名 三田 忠男

No. 1

| 発言の種別 (○で囲む)                               |   | 一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他( ) |
|--|---|--------------------------|
| 発 言 の 要 旨                                  |   | 答 弁 を 求 め る 者            |
| 件 名  | 内 容   |                          |
| 1. 来年度予算編成にあたり、区長要望、議会提案条例の政策・予算上の位置づけについて | <p>来年度予算の編成事務にあたり、市長の政治姿勢、政策決定、予算案作成時の判断基準等について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 市長が政策を提案するとき、部下の政策提案を採択するとき、判断基準は何か、参考とするものは何か、優先している事項は何か等伺います。</li> <li>2. 区長要望事項の取り扱いの位置づけ、採択判断基準はどのようなになされているのか伺います。</li> <li>3. タウンミーティング等住民との意見交換時の住民からの意見は、どのように取り扱っているのか伺います。</li> <li>4. 議会提案条例、決議等はどのような位置づけになり、取り組みの実績を伺います。具体的には、「伊豆市の地酒で乾杯を広める条例」「伊豆市民が共にあゆむ手話言語条例」</li> <li>5. 「全国手話言語市区長会」に加盟し、手話言語法の制定を国に求めるなどの活動に取り組む予算編成を組むつもりはありませんか伺います。</li> <li>6. 最後に、来年度予算編成に関する重点課題等は何か伺います。</li> </ol> | 市長                       |



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年11月12日

伊豆市議会議長 様

議席番号 6番 議員名 下山 祥二

No 1

| 発言の種別 (○で囲む)           |  | 一般質問・質疑・反対討論・賛成討論・その他 ( ) |
|------------------------|--|---------------------------|
| 発 言 の 要 旨              |  | 答 弁 を 求 め る 者             |
| 件 名                    | 内 容  |                           |
| 1. より良い教育環境整備と新中学校について | <p>平成29年5月16日伊豆市議会臨時会において、議会は平成29年度伊豆市一般会計補正予算(第1回)の議案を8対7で否決しました。この議案は新中学校建設を目玉とした文教ガーデンシティ事業を含む伊豆市の新市建設、そして伊豆市の将来を左右すると言っても過言ではないものでした。市内外からも大注目され伊豆市議会の委員会・本会議には連日メディアも押しかけ、審議や採否の結果が報道されました。その後様々な議論を重ね平成30年12月の議会で「伊豆市修善寺・中伊豆・天城地区の新中学校の整備を求める決議」を採択し、それから1年半後の昨年6月には修善寺東こども園が開園し、中伊豆温泉病院は現在中伊豆地区に令和5年の開院を目指し建設中です。</p> <p>そして新中学校は校地を日向地区とし令和7年4月の開校を予定で計画を進め、隣接地には日向公園(防災拠点)も計画が進んでいます。結果大きく遠回りした文教ガーデンシティ事業の蘇りとなりました。しかしながら当時から中伊豆中学校の雨漏りをはじめ市内小中学校の教育環境は決して恵まれたものではありませんでした。現状の教育環境が大変危惧されています。さらに昨年の12月議会で「伊豆市新中学校の着実な建設を求める決議」も採択され1年を経過しますが、計画は着実に進んでいますか。本来なら昨年4月に開校するはずだった新中学校建設は5年も遅延してしまいました。進捗と課題について質問します。</p> | 市長<br>教育長                 |

| 件 名 | 内 容  | 答 弁 を<br>求める者 |
|-----|--|---------------|
|     | <p>① 現在の伊豆市内の小中学校の教育環境の課題、そして通学や下校時の安全対策について伺います。</p> <p>② 教師の働き方改革のため、部活動のあり方についてどのように考えているか伺います。</p> <p>③ 文教ガーデンシティー構想時の計画では教科教室型の導入など、当時の議論の中では「日本一の中学校をつくりたい」という声もありました。現在進めている新中学校の最大のコンセプトは何ですか。</p> <p>④ 市内外から注目され魅力ある新中学校建設を期待いたしますが如何ですか。</p> | 市 長<br>教育長    |



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和3年11月12日

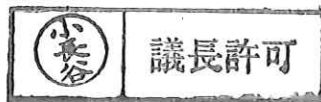
伊豆市議会議長 様

議席番号 4 議員名 飯田 大

No. 1

| 発言の種別 (○で囲む)        |  | 一般質問 | 質疑 | 反対討論 | 賛成討論 | その他 ( )       |
|---------------------|--|------|----|------|------|---------------|
| 発 言 の 要 旨           |  |      |    |      |      | 答 弁 を 求 め る 者 |
| 件 名                 | 内 容  |      |    |      |      |               |
| 1 共に支え合う地域福祉の推進について | <p>第2次伊豆市総合計画基本構想・後期基本計画<br/>重点目標2：政策／福祉・医療の充実、施策1、共に支え合う地域福祉の推進について質問いたします。</p> <p>(1) 共に支え合う地域福祉の推進には、通いの場が大切だと思いが、市内における通いの場の設置及び活動状況について伺いたい。</p> <p>(2) 行政や社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの関係機関との連携や役割について伺いたい。</p> <p>(3) 今後、通いの場を進めるための施策として、市の取組について伺いたい。</p> |      |    |      |      | 市長            |





# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 3年11月11日

伊豆市議会議長 様

議席番号 10 議員名 間野みどり

No. 1

| 発言の種別 (○で囲む)                                     |   | ( <u>一般質問</u> )・質疑・反対討論・賛成討論・その他( ) |
|--|---|-------------------------------------|
| 発 言 の 要 旨  |   | 答 弁 を 求める者                          |
| 件 名  | 内 容   |                                     |
| 故郷を愛し、安心して、将来、市民や子ども達が暮らせていける町づくりのための人材育成の施策について | <p>コロナ禍で、皆、肉体的にも精神的にも疲れきっている日々が続いています。</p> <p>普段の生活も不安や苦悩が多く、まして、この先の未来については希望も持てず、葛藤している方も多いと思っています。</p> <p>そんな中でも、市として介護の充実はもちろん、子ども達や、子ども達を育てる親に対して、いろいろな施策を工夫して奮闘していると感じています。</p> <p>そんな施策を、市民目線で検証していきたいと思い、質問します。</p> <p>(1) 第2次伊豆市総合計画の基本的構想、後期基本計画の中の重点目標としている『少子化対策と次代を担う人材の育成』と人口減少問題についてお伺いします。</p> <p>①人材の育成という部分で、社協の事業の中で「高校生福祉教育事業」があり、伊豆総合高等学校の生徒に対し、ボランティア活動を通じ、福祉の担い手、リーダーの育成を目指しているようです。伊豆市の中学校でも、中学生に市内の事業所等での職場体験があり、市内の産業を知る良い機会と思っています。</p> <p><u>地域で活躍できる人材育成として、市内の職場体験の充実等を、市の施策として取り組めないでしょうか。</u></p> | 市長<br>教育長                           |

| 件名 | 内容  | 答弁を<br>求める者 |
|----|---|-------------|
|    | <p>②人口減少の問題は全国的です。学生で勉強のため、一度は伊豆市を転出することはあると思います。しかし、またもう一度帰ってこようと思っても、働く場所がない、やりたい仕事がないということが、現実であり、大きな社会問題だと思っています。</p> <p>そして、それは伊豆市だけの問題ではないようです。</p> <p>市内で働く場がない問題の改善方法として、市では企業誘致、移住政策等、きめ細かく施策を考えていることはわかっていますが、その打開策の一つとして、住んでいる大人（親）達が、子ども達に、「ここで、こんなことをがんばっているよ。」「こんな良いところが、ここにはあるよ。」と身体（体験）で伝える事がいいのではないかと考えています。</p> <p>そこで、今後、親はもちろん市民が、自分たちの仕事にもっと誇りを持って、<u>子ども達に市内の仕事が楽しく見せられる施策のポイント（市民に向けた市内事業者の活躍のPR等）</u>がありましたら、お答え下さい。</p> <p><u>また、関係機関と連携して、情報を発信していく考えはありますか。</u></p> <p>(2) 伊豆っ子宣言の中にも、「歴史や文化を守り、受け継ぎます」と文面がありますが、それに関して質問します。</p> <p>伊豆市には他の地区にはない独特、独自の伝統文化が数多くあります。その中でも伝統芸能について、私は文化協会に属しながら、前々会長の事業として、現在伊豆市に残る次世代に残すべき伝統文化芸能を、DVDに残すという作業を手伝ってきました。『中原戸の鳥刺し』・『日向春日神社三番叟』・『土肥神社例大祭』・『城山神社三番叟』・『加殿神楽』・『菅引三番叟』</p> | 教育長         |

| 件 名 | 内 容  | 答 弁 を<br>求 め る 者  |
|-----|--|-------------------|
|     | <p>等出来上がり、図書館にも置いて頂いたり、庁舎入口のTVでも観る事が出来たりします。</p> <p>このような素敵な資料が出来ているのですが、周知が少なく、活用も多くされていないようですが、<u>今後、伊豆市の郷土の学習として、学校の教材等に取り組むことで、子ども達が地域の伝統文化を担うことに誇りを持つと思います</u>がいかがでしょうか。</p> <p><u>また、これらの伝統文化芸能を絶やさないような支援や環境整備の取り組みは、</u>いかがでしょうか。</p> <p>(3) 平成 29 年 12 月 4 日の一般質問で、幸福感（幸せを感じる力）を感じる町づくりというテーマをやりました。幸せを感じるには、福祉面の充実、介護の安心、子育ての安心、経済面の安定等と、課題は多くあります。その中でも、私は、やはり一番は心を育てる事が大事ではないかと思っています。何事にも前向きで希望を持ち、乗り越えられる強い心で生きていけるような、次の時代を担う子ども達を、育てていく必要があると思います。</p> <p>その中、子育てをしていく家庭での父親や母親の役割は、子どもにとって大きな環境であると思います。<u>その父親や母親への支援の在り方について、どのように考えていますか。現状、並びに、今後の市の方向性や対応についてお尋ねします。</u></p> | <p>市長<br/>教育長</p> |



# 発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和3年11月9日

伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 杉 山 誠

No. 1

| 発言の種別 (○で囲む) <u>一般質問</u> ・ 質疑 ・ 反対討論 ・ 賛成討論 ・ その他 ( ) |   |               |
|---|---|---------------|
| 発 言 の 要 旨   |   | 答 弁 を 求 め る 者 |
| 件 名   | 内 容   |               |
| 1, 下水道事業計画の見直しについて                                    | <p>下水道事業は、人口減少や厳しい財政状況の中で令和2年3月までに全ての都道府県で都道府県構想が見直され、下水道計画区域の縮小など各污水处理施設の計画区域が見直されたとのこと。</p> <p>都道府県構想は、下水道、農業集落排水、合併浄化槽それぞれの特性、経済性等を総合的に勘案し、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備手法を選定して作成する污水处理施設整備の計画で、都道府県が市町村と連携して作成するとされているが、<u>当市の計画にどのような影響や変化があったか。</u></p> <p>当市では特に、中伊豆上地区が計画区域となっているにもかかわらず未整備の地域が多く、このため合併浄化槽補助金も受けられないなど、住民に大きな不公平感・不利益をもたらしている。</p> <p><u>住民からは下水道整備の促進あるいは計画区域の変更・縮小を早く決定し、不公平・不利益の解消を求める声を聴くがどのように考えるか。具体的な施策を伺う。</u></p> | 市長            |
| 2, 高齢者のゴミ出し支援   | <p>高齢者のゴミ出しについて、高齢化や核家族化を背景として、ごみ出しが困難でありながら十分な支援を得られない高齢者の増加が問題となっている。</p> <p>生活ごみを出すことができなくなると、住環境が不衛生になり、不衛生な住環境は、本人のセルフネグレクトやごみ屋敷化など様々な問題に発展する懸念がある。</p> <p>また、無理に自分でゴミ出しを続けることで、転倒による骨折などで自立歩行ができなくなったり寝たきりになることもある。</p> <p>高齢化が進む中、広い市域を有する当市ではごみの集積所まで遠い家も多くあり、<u>高齢者のゴミ出し支援の取り組みを進める必要があると考えるがいかがか。</u></p>   | 市長            |

| 件名   | 内容  | 答弁を<br>求める者 |
|--|---|-------------|
| <p>3, 人一倍繊細な特性を持つ子どもも HSC (ハイリー・センシティブ・チャイルド) への対応について</p> | <p>HSC (ハイリー・センシティブ・チャイルド) は米国の心理学者エレイン・アーロン博士が 1996 年に提唱した概念で、主に①何事も深く考えて処理する②五感が敏感で、過剰に刺激を受けやすい③共感力が高く、感情の反応が強い④些細な刺激を察知する、という 4 つの特性を持つ。</p> <p>この 4 つの判断軸にすべて当てはまる子どもが HSC で、全体の 2 割ほどがこの基準に該当するとされ、30 人学級なら 6 人は HSC ということになる。</p> <p>あくまで、HSC は病気や障害ではなく性格の一つ。よく混同される「発達障がい」とは感覚過敏や細かい点へのこだわり、集団になじみにくいなどの特徴が共通しており、小学校低学年までは見分けにくい。ただ、HSC は人の気持ちへの共感力が高いという点で大きく異なる。</p> <p>学校現場では HSC は周囲から理解されず、本人が悩みを抱えやすくなっているのが現状。</p> <p>全国から HSC の相談を受けている NPO 法人千葉こども家庭支援センターの杉本景子理事長 (公認心理士) によると、「学校の先生が怒鳴るのが怖い」との相談が多く、「自分が叱られていなくても、ピリピリした教室の雰囲気から大きな負担を感じてしまう」とのこと。</p> <p>思慮深さゆえに授業で手を上げられず、先生から「積極性が足りない」と心配されることもあるという。</p> <p>本人は頭をフル回転させて授業に参加していても、表面的に活発な子が評価され、自信を失うことも多くあり、また、本人が理不尽に感じる事が蓄積すると学校へ行く気力を保てなくなり、不登校につながることもあるとのこと。</p> <p>全ての子どもが安心してのびのびと学校生活を送れるように、<u>HSC に関する情報周知と、より良い教育環境づくりを進めていただきたいと思います</u>と思うがいかがか。</p> | <p>教育長</p>  |